

大義教 政治家。安政二年四月、平右衛門中國生れ。明治七年六月十五日歿（一五五一九三）。字子遠、通稱仙次郎。號善應道人、未堂、木堂居士、木堂散人、杉山生、大領、白林源叟、白龍道人等。慶應義塾中退。西南役の從軍記者等を経て、明治十九年文部省改進審議会に参 加。一九一二年第一回衆議院議員、爾來補選まで各の連續十九回當選。ち 憲國民黨總理、大藏政友會總裁等を務め、昭和八年省相就任も、翌年五月一五事件で臨終せられた。遺稿『大義』、書簡、手記、著述論考、一集『大義先生』。

著書『五十名家品錄』（今著・平田骨仙撰、明治二十二年十月十二日  
平田勝馬刊、靈華書院）、『邊政界之眞相』（大正元年十一月著、明治四  
十四年十月五日）（松葉書店）、『木堂政論集』（川崎克鏡、大正二年  
十一月十六日文藝堂書店）、『木堂  
清語』（大正五年十一月三十日公學  
館）、『木堂翰墨叢』全一冊（長尾  
甲補註、大正五年十一月二十日大  
阪・博文堂大販賣會社）、『木堂政論  
集』（岸田文雄編、大正十一年十一  
月、大正十二年文藝堂書會社）、『景氣の不景氣の一、大義の・濱口の』（山  
浦賀一編、昭和五年一月九日誠文堂）、『我の福澤先生』（合著・福  
澤先生研究會編、昭和八年四月十五日大善株式會社）、『木堂先生著  
説』（昭和九年十月、十五日東京木堂會）等。



五日本太閤堂）、野助助編『大義内閣の巨節無

文獻、清水仁二郎著『大義教』（大正二年六月十

視』（昭和七年一月、十四國體擁護改聯盟）、鈴木富士彌著『萬葉無比の國體を蹂躪せしる大養軒の正節問題』（日本書院出版、昭和七年一月二十一日）が、藤島源藏著『大養イン子キ政治の正體を陳露す』（昭和七年一月一日氏友通信社）、國體擁護改聯盟編『正節蹂躪の大養内閣』（昭和七年一月八日東洋英刊、春秋社）、高見文通著『使命録—木堂最後の正境』（昭和七年八月八日北櫻後援會）、鶴屋義直著『大養木堂翁』（昭和八年五月一日社會教育協會「文庫叢文庫」）等。

